

校長先生の挑戦10「世の中の一人としてできること」

2月2日の全校集会では「世の中の一人としてできること」と題して、SDGsについての話をしました。

【サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ】

(持続可能な開発目標)には、地球上の誰一人取り残さないことをスローガンに、「①貧困をなくそう」「②飢餓をゼロに」といった、主に発展途上国において深刻度が顕著な問題から、「⑫つくる責任つかう責任」「⑬気候変動に具体的な対策を」のように、主に先進国において早急な取組や対応が求められる問題まで、17の目標(ゴール)と169に細分化されたターゲットが掲げられています。

今回は、1月の青少年の声を聞く会で、木野瀬永和さんが発表してくれた「みんなの地球を守るために」というテーマに関係する目標の中から「⑬気候変動に具体的な対策を」「⑭海の豊かさを守ろう」の2つを取り上げて話をしました。ユニセフのホームページから動画を2つ、1つは、マラウイの母子が幸せそうに畑に水撒きをする様子から始まる動画です。赤ちゃんだった女の子が成長しながら水撒きを続ける様子と工場から立ち上る煙や温暖化による環境の変化とが交互に映し出され、最後には、乾ききって何も育たなくなった畑に座り込む姿と、その傍らで小さな植物の残骸を拾い上げる彼女の赤ちゃんの姿で終わります。もう1つの動画では、まず、プラスチック製品を大量生産する工場が映し出されます。そして、それらがゴミとなって美しい南の島を覆いつくす様子、信じられないようなプラスチックゴミの山の中で語りかけるジャーナリストの姿へと続きます。その後、世界遺産オーストラリアのロードハウ島の美しい浜辺を歩く女性科学者の姿へと場面が切り替わり、彼女はそこで一羽の海鳥の死骸を見つけます。動画はその後も続くのですが、子どもたちに見せたのはそこまで、その後、動画では、女性科学者が海鳥の体の中から200を超えるプラスチック片を取り出します。人間の体重に換算すると、実にピザ12枚分ものプラスチックを飲み込んでいたようです。この後半部分は、動画ではなく、言葉で説明しました。

環境問題に大いに翻弄されているこの母子や海鳥には何の落ち度もありません。しかし、遠く離れた日本に住む私たちに何も関係がないかということ、それは甚だ疑問です。日本人は、この母子より確実に多くのCO₂を排出し、海鳥の中の200のかげらの1つが自分が出したものではないという確証もありません。知って、感じて、考えて、行動する。

- 「地球の味方」、そして「なりたい大人」となるために。



みんなの地球を守るために

しって	<input checked="" type="checkbox"/>
かんじて	<input checked="" type="checkbox"/>
かんがえて	<input checked="" type="checkbox"/>
こうどうする	<input type="checkbox"/>

SDGs

なりたいおとな

給食感謝集会、ゴーヤの妖精が登場しました。

1月26日に、給食感謝集会が開かれました。全国学校給食週間にあわせて開催されたこの集会では、給食委員会の子どもたちがつくったビデオが紹介されました。市木小学校の子どもたちが一番苦手とする食材「ゴーヤ」。ビデオでは、その「ゴーヤの妖精」が登場し、栄養豊富で様々なレシピのあるゴーヤについて紹介してくれました。友だちが登場するビデオに、みんな笑顔の集会となりました。



新入学児童保護者説明会、市木保育園との交流会



2月3日に、新入学児童保護者説明会がありました。令和5年度は、9名の新一年生が市木小学校の仲間に加わる予定です。説明会では、入学に向けた学校からのお願いや準備等について説明させていただきました。会と並行して新入学児童と1・2年生との交流会も開催し、小学校の行事の紹介や、一緒に体を動かすゲームで楽しく交流しました。入学してくれる日が、今からとても楽しみです。

また、2月17日には、市木保育園との交流会も開催されました。今回は、年少さんまでの小さな子どもたちも加わり、子どもたちは、一層、張り切って活動していました。特に1年生は、この2つの交流会で初めてお世話をする側となり、小さな子どもたちのことを考えながら行動する姿に、この1年間での成長がうかがえました。当日は、じゃんけん列車で盛り上がり、最後には、手作りの絵本を贈ってお見送りをしました。



進級に向け、また一つ成長できた2つの交流会でした。

キャリア学習、地域の方にお話をお聞きしました。



2月9日は、キャリア学習として、串間市消防団市木分団長で、上石波地区の自治会長さんでもある成田一志さんにお話をお聞きしました。

キャリア学習というと、職場体験学習など、「職業観の育成」という側面がまず頭に浮かびますが、「職業選択」のみに留まらず、社会における役割や生きる喜びといった広い意味での「生き方」についての学習と捉えられています。

講師をしていただいた成田さんには、毎年、避難訓練でお世話になっており、子どもたちにとっては身近な存在。子どもたちが関心をもって避難訓練に取り組めるようにと、情熱をもって計画準備していただく姿に、「いつか子どもたちにお話していただく機会を」と考えていました。身近な大人の思いに触れることのできた1時間でした。

「火育活動」が開催されました。

2月14日に、5・6年生が「火育活動」に取り組みました。この活動は、「火に親しみ、火を学ぶ」をテーマに、市内の6年生（本校は5・6年生）が合同で行うものです。「火」に関わる教育ビデオの視聴や、三人一組での火起こし体験に挑戦しました。3年ぶりの開催となりましたが、普段は簡単に手に入れることのできる「火」を起こすために奮闘しながら協力し合う姿が印象的でした。



3月の行事予定

2日	全校朝会	17日	卒業式予行
3日	お別れ遠足（弁当の日）	23日	卒業式
6日	クラブ活動（反省）	24日	修了式
9日	ふれあい給食	30日	離任式

